

亢

亢は、𠂔で、手を広げ足を大きくふんばり、通せんぼをしている形を象ったもの。抗の本字で“ふせぐ”“こぼむ”“さからう”が本義の字です。転じて“たかぶる”の意になりました。亢奮、亢進(たかまり進む)。音は高^{コウ}です。

抗は、“こぼむ”という意味の亢と手との会意形声字で、音は亢^{コウ}です。“手をあげてふせぎこぼむ”という意味です。抵抗、反抗、抗議、抗戦。

忼は、“たかぶる”意味の亢と心との会意形声字で、“心がたかぶる”という意味の字です。悲憤忼慨。

航は、“抵抗”の意味の亢と舟との会意形声字で“川の流れにさか^さら^らう^うて舟を進める”という意味の字。“舟を目的地に向けて進める”のが本義ですが、今では飛行機の場合にも使います。「航海」「航空」。「航路」「航空路」。

坑は、「亢進」や「航行」の意味の亢と土との会意形声字です。土地

にあなを掘り進めることは大変に抵抗の多い仕事ですが、その困難にさ^さか^から^らう^うて、掘り進めた“あな”が「坑」です。“地中に掘りあけた深いあな”のことを言います。今では石炭や鉱石を採掘するための“あな”を言います。炭坑、金坑、坑内、坑道。

杭は、高の意味の亢と木との会意形声字で、“高く突き出た木”つまり、“棒くい”のことです。